足利赤十字病院　Japanese Red Cross Ashikaga Hospital

地域に根差す、足利赤十字病院の広報誌

風流鯨

ーかぜながすくじらー

ご自由にお持ち下さい
Take Free

2019.10 Vol.27

- **泌尿器科紹介** 令和2年1月より ロボット支援手術を開始
- 地域連携研修会
- ホスピス緩和ケア週間
- オープン献血開催報告
- マレーシア保健省視察団の受け入れ
- 中華医事科技大学（台湾）の実習生受け入れ
- GAPボランティア紹介
- 足利花火大会清掃ボランティアを実施
- 織姫神社清掃ボランティアを実施
- 宇都宮市総合防災訓練

TOPICS ●活動報告&お知らせ　●栄養課の窓　●臨床検査の豆知識

診療科紹介

泌尿器科

Urology

地域の期待に応えられる泌尿器科診療を目指します。令和2年1月よりロボット支援手術を開始

第一泌尿器科部長
西井 昌弘

副部長
大塚 保宏

医　師
加藤 春雄

医　師
前野 佑太

泌尿器科部長就任のご挨拶

10月より泌尿器科部長に就任しました西井昌弘と申します。

当院は両毛地域の基幹施設であり、泌尿器科は開設以来群馬大学泌尿器科より医師の派遣を受けて診療体制を築いて参りました。現在は泌尿器科専門医3名と専門医取得を目指すやる気に満ちた後期研修医1名の総勢4人体制で診療に当たっております。これまでの伝統を継承するとともに、最新の知見も取り入れ、患者さまに最適な医療を提供していきたいと考えております。

幅広い泌尿器科疾患に対応

当科では泌尿器科悪性腫瘍（腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌など）、尿路結石（腎尿管結石、膀胱結石）、尿路感染症、前立腺肥大症や過活動膀胱などの排尿障害や男性更年期障害、などの幅広い泌尿器科疾患に対応しています。治療法も、手術療法、放射線療法、化学療法（抗がん剤治療）、免疫療法など多岐にわたっています。また尿路性器外傷（腎外傷、精巣外傷、尿道損傷など）や精巣捻転症、重症尿路感染症などの泌尿器科救急疾患には、24時間365日対応しております。

内視鏡手術・腹腔鏡手術からロボット支援手術へ

尿路結石治療では内視鏡技術の進歩により、体外衝撃波結石破砕術（ESWL）に比較して内視鏡を使用した経尿道的結石破砕術（TUL）の症例が増加しております。腹腔鏡手術は傷が小さく痛みが少ないというだけでなく、拡大視野での精密な手術が可能です。当科でも腹腔鏡下の腎摘除術、腎部分切除術、副腎摘除術、腎尿管全摘除術を行っております。また、前立腺癌に対しては手術支援ロボット（da Vinci）を使用した前立腺全摘除術を1月より開始します。

排尿ケアチームとしての取り組み

脳血管障害（脳出血、脳梗塞など）や肺炎、下肢の骨折などで当院に入院されている患者さんの中には、尿閉（尿が出ない）などの排尿トラブルを訴える方も多く見受けられます。泌尿器科医と皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士で連携し、なるべく自然な形で排泄が可能となるような取り組みを行っております。

セカンドピニオン・地域連携

我々も日々研鑽し、患者さまにとって最善の治療を提案できるように努めてまいりますが、治療に悩まれるようなことがありましたら他院への紹介やセカンドオピニオンも積極的に行っておりますので、医師にお気軽にお声掛けください。また当院でもセカンドオピニオンを受け付けております。地域の先生方との連携を密にし、地域の期待に応えられる泌尿器科診療を目指していきたいと考えております。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「緩和ケア」をテーマとした第2回地域連携研修会を開催しました

10月10日（木）に地域の医療従事者と院内職員を対象とした今年度第2回目の地域連携研修会を開催しました。今回は、さいたま赤十字病院 緩和ケア診療科部長の原 敬先生を招聘して「もう早く終わりにしてほしい」と言われたら、あなたはどうしますか?～がん治療病院の緩和ケアチームの実践から～と題したご講演をいただきました。

「緩和ケア」とは、がん患者の体の痛みはもちろんのこと、不安や恐怖、経済面の悩みなどの心のつらさもやわらげ、より豊かな人生を送ることができるようサポートすることです。当日は、院内外から121名の参加があり、実話を基に「緩和ケアの奥深さ」や「傾聴の大切さ」などについて語る原先生のご講演を参加者全員が真剣に拝聴している姿が印象的でした。

当院は、今年4月1日付で厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院に指定され、今後も専門的ながん診療機能のさらなる充実を図り、地域のみなさまに、質の高いがん診療が提供できるよう研修会などを企画・開催していきたいと考えています。

ホスピス緩和ケア週間イベントを開催しました

日本ホスピス緩和ケア協会では、世界ホスピス緩和ケアデー（10月12日）を最終日とした1週間を「ホスピス緩和ケア週間」としており、当院においても10月10日（木）にホスピタルモールで緩和ケアの普及啓蒙活動の為、イベントを開催しました。

管理栄養士・薬剤師・リハビリ療法士・MSW・緩和ケア認定看護師による各種相談や緩和ケア認定医及び薬剤師による緩和ケアミニ講義等を行い、約80名の患者様やご家族様に対して緩和ケアについての啓蒙活動を行いました。また、音楽ボランティアによる「ピアノとヴァイオリンによるコンサート」を開催し、音楽による癒しを体感して頂きました。今後も、ホスピス緩和ケア週間などを通して、広く緩和ケアについて啓蒙活動をしていきます。

オープン献血を実施しました

9月26日（木）に、今年度2回目となる献血を実施しました。今回は、100名を超える受付者、87名の方々が実際に献血を実施するなど、多くの皆さまにご協力いただくことができました。現在も、全国的に血液不足傾向となっています。次回は令和2年1月24日（金）に実施いたしますので、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

次回　令和2年1月24日（金）

国際関係活動報告

～International Activities Reports～

マレーシア保健省視察団の受け入れ

7月12日（金）にマレーシア保健省視察団の受け入れを行いました。マレーシア保健省は、近い将来マレーシア国内に医療施設の建設を検討しており、IFHE国際医療福祉建築賞で最優秀賞を受賞している当院の施設及び運用方法を視察するため来院されました。

当日は、小松本院長が当院の概要を説明した後、救命センター、免震設備、エネルギー棟などを入念に視察、質疑応答では活発に質問が飛び交うなど約2時間に渡り視察対応が行なわれました。これまでも10ヵ国以上の外国人医療関係者が見学に訪れています。『医療の国際化』が進む現代で、外国人・日本人を問わず「全ての人にひらかれた国際病院」を目指した病院創りを引き続き行っていきます。

視察の様子▲▶

中華医事科技大学（台湾）の実習生受け入れ

7月16日（火）から8月23日（金）の約6週間、中華医事科技大学（台湾）の看護学生7名をインターンシップ実習生として受け入れました。

当院と同大学は、平成27年6月に医学向上を目的として相互人事交流協定を締結し、実習生の受け入れを開始しました。今回で第4期目の施行となります。看護部門を中心に、コメディカル部門や事務部門でも実習を行い、日本の看護ケアや医療システムについて学びました。

GAPボランティア　～海外からの仲間を紹介します～

当院では平成13年から現在まで58名の海外ボランティアを受け入れており、多くは将来医師や看護師など医療の道に進んでいます。今年9月より、2人のボランティアが病棟や保育所などで活動を始めました。

ナターシャ・ルブーク（18歳）　オーストラリア

日本に来たのは初めてで、ボランティアに情熱を持っています。将来は、獣医を目指しています。よろしくお願いします。

ヘザー・ジェント（18歳）　イギリス

将来、医者になるため医学部に進学予定で、医療現場で職業経験を得ることで今後の人生を豊かにしたいです。よろしくお願いします。

▲ナターシャ・ルブーク

▲ヘザー・ジェント

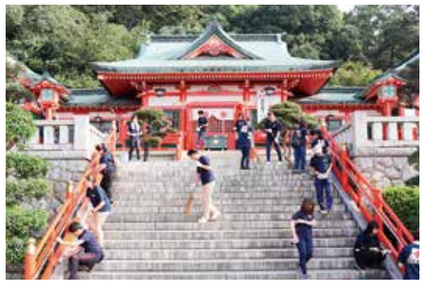
足利花火大会清掃ボランティアを実施

関東屈指の歴史ある足利花火大会は、今回で105回目の開催となり、毎年約50万人の観覧者で賑わっています。

当院では毎年、足利花火大会の翌日に当院職員による清掃ボランティアを実施しています。今年も、8月4日（日）の早朝に280名の職員が集結し、会場周辺のゴミ拾いを約1時間かけて実施しました。伝統ある足利市の行事を守っていけるよう、当院では引き続き清掃ボランティアを実施していきます。

織姫神社清掃ボランティアを実施

9月29日(日)に、足利市の象徴である『織姫神社』の清掃ボランティアを実施しました。当日は、気持ちの良い秋晴れの中、総勢101名の職員が集結し、織姫神社全体を入念に清掃しました。清掃後には今後の足利市の更なる発展と皆様の健康を祈念しました。



宇都宮市総合防災訓練

8月17日（土）に開催された宇都宮市防災訓練に、岸田外科医師を班長とする救護班第1班を派遣しました。

同訓練は、自衛隊や消防など参加協力団体78団体、参加人数約2,500名と大規模な訓練であり、宇都宮市東部を震源とする震度7の直下型地震が発生し、宇都宮市内全域で甚大な被害を受けたことを想定して実施されました。

救護班は自衛隊や宇都宮市、市民防災機関、市民防災組織と連携し、エアーテントの救護所において救護活動を行い、訓練終了後には訓練参加者による反省会を実施するなど、全体で約3時間かけて入念に確認を行いました。いつ起こるか分からない災害に対して、災害拠点病院として地域の皆さまが安心して生活が送れるよう、引き続き訓練を行っていきます。

活動報告&お知らせ

Report & Information square

活動報告 第57回日本赤十字社東部ブロック体育大会 結果報告

9月15日（日）に第57回日本赤十字社東部ブロック体育大会が開催されました。当院から卓球部、バレー部、テニス部が参加しました。今回の結果、残念ながら、来年度開催予定である第20回全国赤十字病（産）院スポーツ大会への出場はなりませんでした。

卓球部:ベスト8

バレー部:ベスト8

テニス部:予選リーグ敗退

活動報告 天皇賜杯第74回全日本軟式野球大会 ENEOSトーナメントに出場しました

9月13日（金）～9月18日（水）に長野県で開催された軟式野球最高峰の大会である天皇賜杯第74回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメントに栃木県代表として出場しました。

当院野球部は、3年ぶり5度目の出場となり、前回出場の第71回大会に続き、2度目のベスト8の成績を収めました。

1回戦	西部ガス北九州（福岡県代表）	○ 4対3
2回戦	ミータス(山口県代表)	○ 3対2
3回戦	和合病院（愛知県代表）	○ 3対1
準々決勝	田中病院（宮崎県代表）	● 0対4

▲ベスト8の好成績を収めた野球部

お知らせ 音楽ボランティアコンサートのお知らせ

コンサート予定をお知らせいたします　会場 ホスピタルモール

- ♪10月25日（金）午後2時～　ピアノ&フルート［アンサンブル・マーノ］
- ♪11月27日（水）午後2時～　ピアノ&しの笛［ボランティアユニット］
- ♪12月 6日（金）午後2時～　アウトリーチコンサート［オペラ・リリカ］
- ♪12月17日（火）午後2時30分～　コーラス［ポーテママン］
- ♪12月18日（水）午後2時～　ハンドベル［アルファ・リリー］

お知らせ 糖尿病を予防しよう!

気になる血糖・気になる体を簡単チェック

日時 11/16(土)　午前10時～午後0時
場所 ホスピタルモール(受付Bブロック向かい)

「世界糖尿病デー」である11月14日に合わせて、イベントを行います。糖尿病の患者様に限らず、健康に関心のある方はどなたでも参加できます。参加費は無料、事前申し込みは不要です。どうぞお気軽にお立ち寄りください!

◎身体測定・血糖測定・食生活チェック　◎糖尿病療養指導士による療養相談
◎メディカルスタッフによる相談（看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士など）
糖尿病の概念、合併症予防、食事療法、運動療法、薬物療法、検査の見方…等

お知らせ 皆さまのお越しをお待ちしております

院内イベントスケジュール

リボンズハウス

がん患者様の治療と生活を支援するため、情報やケア体験を提供する場所です。がんに関心をもたれている方、お気軽にお立ち寄りください。

日時 11/18(月)・12/2(月)・16(月)・令和2年1/6(月)・20(月)　午前10時～午後2時
場所 イベントルーム

ナイスハートバザール(出張販売)

障害者就労支援事業所で一つひとつ丁寧に作っているパンや焼き菓子・オリジナル製品を販売しています。

時間 午前10時～午後1時（売切れ次第終了）　場所 正面玄関入口広場

日付	販売商品（事業所）
10月24日（木）	●コーヒー豆・シフォンケーキ・パウンドケーキ・焼菓子等（はろーじょぶ） ●ティッシュボックスカバー・バッグ・ヘアゴム等（いろは）
11月14日（木）	●コーヒー豆・シフォンケーキ・パウンドケーキ・焼菓子等（しあわせスイーツだんだん） ●焼菓子・エコポット・漬物・パン（こなかの森）
11月28日（木）	●菓子パン・食パン（フロンティアおやま） ●梅干し・かぼちゃプリン・焼き菓子・野菜（やまゆり学園）
12月12日（木）	●野菜・木工製品・手芸・和紙製品・ジュース等（こころみ学園） ●焼菓子・エコポット・漬物・パン（和泉）
12月26日（木）	●コーヒー豆・シフォンケーキ・パウンドケーキ・焼菓子等（はろーじょぶ） ●ティッシュボックスカバー・バッグ・ヘアゴム等（いろは）
1月 9日（木）	●コーヒー豆・シフォンケーキ・パウンドケーキ・焼菓子等（こなかの森） ●ティッシュボックスカバー・バッグ・ヘアゴム等（やまゆり学園）

※事業所の都合により、販売内容が変更となる場合がございます。

今号の表紙　織姫神社清掃ボランティア

健康レシピ紹介

栄養課の窓

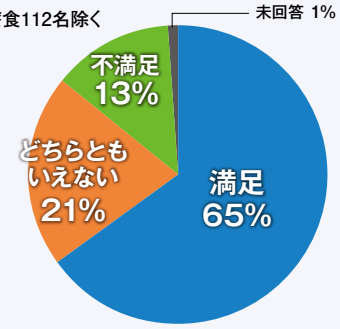
入院患者嗜好調査結果報告
[2019春より]

当院では年2回嗜好調査を実施しています。
嗜好調査結果をもとに、患者様に満足度の高い食事と、安心・安全な食事提供に日々努めています。

嗜好調査結果より抜粋

■ 対象者：一般常食76名（男性26名・女性50名）
■ 平均年齢：57歳　※特別治療食112名除く

Q.病院食に満足していますか?



不満足の理由
第1位『味』

《病院食》
厚生労働省「日本人の食事摂取基準2015年版」に基づき、塩分1日8g以下で献立作成
食塩摂取目標量
男性8.0g未満、女性7.0g未満

《現状》
1日の食塩摂取量
H29年度栃木県安足地区
20～64歳…10.5g
65歳以上…10.6g

➡ 病院食と現状の塩分摂取量にはギャップがある!

薄味でも美味しく食べられる病院食の工夫

○だしの旨味：カツオ・昆布・いりこだしなど
　料理に合わせて数種類を使い分け
○香味野菜：葱、生姜、しそ、柚子など
○香　辛　料：七味唐辛子、胡椒、山椒、カレー粉など
○酸　　味：酢、レモンなど

病院食レシピ紹介♪

山形風芋煮

牛肉・野菜の旨味とだしを活かし、薄味でも美味しく食べられるよう工夫しています!

■栄養成分（1人分）
エネルギー 148kcal
たんぱく質　8.4g
食塩相当量　0.8g

材料［2人分］

- 里芋 ……60g
- こんにゃく ……40g
- 牛こま切れ肉 ……60g
- ゴボウ ……60g
- まいたけ ……30g
- 長ねぎ ……40g
- だし汁 ……100mℓ
- 料理酒 ……6g
- しょうゆ ……10g
- 砂糖 ……3g
- みりん ……10g

☆

～作り方～

1. 里芋は皮をむいて一口大に切り、ゴボウはささがきにして水にさらす。里芋は下茹でしておく。
2. こんにゃくはスプーンで一口大にちぎり、長ねぎは1cm幅の斜め切りにする。まいたけは食べやすく割く。
3. 鍋にだし汁・調味料（☆）と、里芋・こんにゃく・ゴボウを入れて中火で加熱し、里芋がやわらかくなるまで煮る。
4. 牛肉・まいたけ・ねぎを加えて、ひと煮立ちしたら完成。

管理栄養士 中里見 理菜

臨床検査の豆知識

微生物検査

微生物検査は、培地と呼ばれる寒天に検体（尿・喀痰・血液など）を塗り付け、一晩、温めて、肉眼で見えるほどに細菌を増やしていき、細菌の集落（コロニー）を作らせて観察します。コロニーが細菌の種類ごとに様々な特徴を示すことから、細菌を特定し（同定）、また細菌を退治することができる抗菌薬を調べていきます（薬剤感受性試験）。検査結果は患者さまの感染症の評価や抗菌薬の選択に活用されます。

微生物検査の弱点は、細菌を増やす時間を要するため、検査結果が出るまでに数日かかることですが、当検査室では最新鋭の検査機器「MALDIバイオタイパー」を導入し、コロニーが形成されていれば約10分で細菌が特定できます。また、結核菌の検査も遺伝子検査により数時間で判定できます。

足利赤十字病院
Japanese Red Cross Ashikaga Hospital
〒326−0843 栃木県足利市五十部町284−1
TEL: 0284−21−0121　FAX: 0284−22−0225　ホームページ http://www.ashikaga.jrc.or.jp/
広報誌「風流鯨」Vol.27／令和元年10月25日発行　編集・発行／足利赤十字病院広報委員会